

目 次

第1章 計画の基本的事項

- 1 計画策定の趣旨 1
- 2 計画の位置づけ 2
- 3 計画の期間 2

第2章 食をめぐる現状と課題

- 1 人口・世帯に関すること 3
 - (1) 人口と世帯の動向
 - (2) 年齢3区分別人口の動向と国、県との比較
- 2 生活習慣病に関すること 4
 - (1) 死因状況
 - (2) 有病状況
 - (3) 医療費の状況
- 3 ライフステージによる現状 6
 - (1) 妊娠期
 - (2) 乳幼児期
 - (3) 学童期
 - (4) 成人期
 - (5) 高齢期
- 4 前計画の評価 17
 - (1) 食育の普及に関する目標
 - (2) 体の健康に関する目標
 - (3) 豊かなこころを育むことに関する目標
 - (4) 食の安全性に関する目標
- 5 食環境の現状 21
 - (1) 「有機の里づくり」の推進
 - (2) 特別栽培農産物認証制度の推進
 - (3) 地産地消の促進
 - (4) 住民による活発な地域づくり活動
 - (5) 食に関する環境の保全

第3章 食育推進の基本方針

- 1 基本理念 2 3
- 2 基本目標 2 3
- 3 計画の推進体制 2 3
- 4 関係者の役割 2 4
 - (1) 個人の役割
 - (2) 家庭の役割
 - (3) 保育園・幼稚園の役割
 - (4) 学校の役割
 - (5) 地域・ボランティアの役割
 - (6) 地域農業の役割
 - (7) 食品関連事業者等の役割
 - (8) 行政の役割

第4章 食育施策の方向と取り組み

- 1 家庭における共食を通じた子どもへの食育の推進 2 6
- 2 生活習慣病の予防及び改善につながる食育の推進 2 6
 - (1) 適正体重の維持
 - (2) 適正な食習慣
- 3 生涯にわたるライフステージに応じた間断ない食育の推進 . 2 7
 - (1) 妊娠期
 - (2) 乳幼児期
 - (3) 学童・思春期
 - (4) 成人期
 - (5) 高齢期
- 4 豊かな食育体験の推進 2 9
- 5 食文化の伝承と地産地消の推進 2 9
- 6 食の安全性の確保 3 0

参考資料

食育推進の取り組み事例

- 事例1 鮫川村バイオマスヴィレッジ構想
- 事例2 食と農の結びつきを身近に感じる給食の取り組み